

東日本大震災から4年。  
今後、必ず起こる  
災害を前に  
すべての人が  
考えなければ  
ならないこと。



その人たちに、  
いったい何が  
起こっていたのか

好評  
発売中

# そのとき、被災障害者は…

～取り残された人々の3.11～

東北関東大震災障害者救援本部・いのちのことば社 [共編]

A5判 256頁  
本体1,800円+税8%  
ISBN:978-4-264-03342-4

震災死亡率が二倍とされる障害者。その当事者と家族、支援者の証言から、障害者たちの避難の実態と試行錯誤の支援の様子を鮮明に描く。東日本大震災から4年、いまだに被災のただ中で生きている人々の声を綴る。

## 「本文より ～目次～」

I

- ・震災をいかに生き延びたか
- ・地域で当たり前だった暮らしがなくなった
- ・地域のつながりがあればこそ
- ・網渡りの電源確保

- ・聞こえない私たちにも、同じように情報を
- ・情報が命を分けた境界線だった
- ・「私たち」は避難所に避難できなかった
- ・避難所に障害者がいられない

- ・避難の連続 次々と襲いかかる困難
- ・家族五人で救助を待ち続けた
- ・いわきから集団避難
- ・避難先を求めて

II

- ・なにが求められるのか
- ・入所施設の集団避難
- ・孤立する患者さんに電話相談で情報を
- ・精神障害者 なくてはならないケア
- ・在宅医療を支える

- ・あの時、透析患者は……
- ・作業所が津波に流されて
- ・「残るしかない」という道
- ・手がかりをたよりに障害者を探す
- ・「避難する 避難しない」

- ・障害当事者が被災地の障害者を支援する
- ・被災地でいのちの足を守る
- ・学校もバリアフリーに
- ・大規模災害と女性障害者

### 申込書

年 月 日

『そのとき、被災障害者は…』を _____ 冊 申し込みます。		ご住所 〒 _____
フリガナ お名前		
電話番号 _____		

ご注文・お問い合わせ

DPI(障害者インターナショナル)日本会議

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8武蔵野ビル5階  
TEL 03-5282-3730 <http://www.dpi-japan.org>

[office\\_jp@dpi-japan.org](mailto:office_jp@dpi-japan.org)

FAX 03-5282-0017